

# 履歴書

2014年 3月 20日現在

フリガナ 氏名	チン ヒン イク		
氏名	陳 品 彥		
生年月日	1979年 7月 22日生(満 34歳)		男



フリガナ 現住所	愛知県丹羽郡大口町余野二丁目51 丸周マンション204		TEL
	〒( 168 - 0082 )		FAX
フリガナ 連絡先	( 現住所以外に連絡を希望する場合のみ記入 )		TEL
携帯電話	090-2753-6860	Email	nldwrrikrm@hotmail.com

年	月	学歴・職歴など(項目別にまとめて書く)
		学歴
1998	6	永平高校(台湾)卒業
1999	9	中山医学大学(台湾) 生物医学科学部 入学
2003	6	中山医学大学(台湾) 生物医学科学部 卒業
2004	9	中山医学大学(台湾) 大学院 医学分子毒理学科(薬物質量分析研究室) 修士課程 入学
2006	6	中山医学大学(台湾) 大学院 医学分子毒理学科(薬物質量分析研究室) 修士課程 修了
2010	4	日本工学院専門学校 環境・バイオ科 入学
2011	3	日本工学院専門学校 環境・バイオ科 退学
2011	4	東京大学大学院 総合文化研究科/広域科学専攻(分析化学研究室) 修士課程 入学
2013	3	東京大学大学院 総合文化研究科/広域科学専攻(分析化学研究室) 修士課程 修了
		職歴
2008	12	Natural Bridge, Springbrook National Park(オーストラリア)
2010	3	生態案内ガイド
2013	4	菊水化学工業株式会社 入社
		技術開発本部 汎用塗料技術部
		以上
配偶者の有無		扶養家族(配偶者を除く)
無		無

年	月	免許・資格
2000		AutoCAD 2000
2009	3	日本語能力試験 一級
2010	3	TESOL(Teachers of English to Speakers for Other Languages)[英語教授法資格]
その他特記すべき事項		

研究概要	
<b>修士課程①</b>	<b>研究テーマ:薬物のLC/MSデータベースにおけるプログラミングの応用</b>
本研究では、本学付属病院から薬物を収集し、自作のLC/MSのデータベースを作成した上で、プログラミング技術で原子の同位体存在による元素解析を取り込んでいた。例えば塩素原子の場合、多く存在する同位体は <sup>35</sup> Clで、 <sup>37</sup> Clは <sup>35</sup> Clの約1/3存在します。そのため、化合物の構造式にClが存在する場合、ピークの分布は質量差が2で、Clの数により二項分布になります。その特徴を利用し、未知化合物の原子の存在とその数を特定することができる。この結果、自作データベースのサーチエンジンとして機能でき、LC/MSスペクトルによる未知化合物構造の予測に有用である。	
<b>修士課程②</b>	<b>研究テーマ:山林地域の土壌の酸中和能に対する植生の影響</b>
日本の広葉樹林の土壌には、落葉の腐植により生じる有機酸が酸中和に影響しているため、針葉樹林の土壌より酸中和能が上回っている。本研究では、酸性降水の有無、山地の緯度や標高等の因子から、土壌の酸中和能に対する影響の評価を行い、主として交換性陽イオンの分布を機器中性子放射化分析法により解析した。その結果、酸性雨被害を受けた土壌は、Ca, Na, Mgの他にAlも激減していることが分かった。また、X線吸収微細構造法により、元素の化学状態を解析したところ、落葉樹林における土壌のCaがCaSO4として存在する傾向があった。	
<b>研究を通じて得たスキル・能力</b>	
放射化機器分析:機器中性子放射化分析(INAA)、X線吸収微細構造(XAFS)解析、X線回折(XRD)解析 一般機器分析:液体クロマトグラフ質量分析(LC-MS)、誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICPAES)、原子吸光分光光度計(AA)、赤外分光光度(IR)計等です。 プログラミング言語:PHP(+MySQL)、PERL、VBA	

スポーツ・文化活動・学外活動	趣味・特技
1.学会発表: 日本放射化学会、京都大学原子炉実験所専門研究会 2.語学家庭教師:オーストラリア人の中国語、日本語の家庭教師を担当していた。 3.サークル:東アジア学生団体(海外事務局) 4.産業翻訳経験:英 日→中	1. 一人旅:いわゆる「バックパッカー」でした。旅行しながら、安いバックパッカーホテルに泊り、4~12人部屋で世界中の旅をする人(勿論皆は面識ない人たち)と一緒に料理したり、情報交流したりをしていました。 2. 語学:日、中、英三ヶ国の扱い。

自己PR
<b>■一番力を入れて取り組んだこと■</b> 自国ではなく絶対日本で就職したいことを、親は理解してくれなくて大反対でした。とはいえ、兵役が終わってから、私はやはり観光ビザで日本で絶対日本就職の思い込みを持って必死に就職活動をしていました。残念ながら挑戦しても、面接の途中で泣き出したこともあったほど、悔しさを味わっていました。その後、日本人が多いオーストラリアへ能力を鍛えていて、東大合格ほど頑張ってきた。今からきっと日本就職の夢を叶うと思っています。
<b>■長所・強み■</b> 1.難しいことを挑戦する意欲。英語圏時代の英語を維持するため英会話教室に通っている。授業の隙間に隣の方と日本語でお喋りをする時、「あなたの英語が上手いから外人と思った」と言われた。自分の日本語が日本人のと間違われたのが嬉しかった。この一言のため、私はいくらかでも頑張れる。私は真面目で常に高い技術を求めたいため、一生でも追求できる仕事を与えられたい。 2.持続力があること。私は八年前から海外にいる限り、「母語を禁止する」というルールを実行しています。そのため、理系である私は、今語学教師と産業翻訳者の実績を持っていて、日本の難関大学に入学できました。